

「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

「第6回戦争体験と平和への思いを語り継ぐ会」

九条の会ゆら



九条の会ゆら」の「第6回戦争体験と平和への思いを語り継ぐ会」は2010年6月26日、近畿地方各地に豪雨・洪水・雷雨等の警報、土砂災害の注意が出て、由良町内でも朝から強い雨が降り続く中、由良町中央公民館2階ホールで開かれた。午後1時30分、開会挨拶、畑中町長からのメッセージが川出由良町議会副議長が代読のあと、藤本民子指揮、由良町女声合唱団によるコーラス、「三つのわらべうた」、金子みすず作詞の「わたしと小鳥とすずと」、「いのちの歌」が行われた。このあとNHK・Eテレ「祖父たちの戦場」の第1話「じいちゃんが残した言葉」(29分)

を上映。祖父が死ぬまで「私は畳の上では死ねない」と言い続けた祖父が一兵士として参加した南京攻略作戦のようすを、愛媛県歴史博物館学芸員の孫が祖父の周辺にいた人たちからの聞き取りを重ねて南京大虐殺とよばれる侵略戦争の真相に迫っていく話である。このビデオを受けて南京攻略戦前後の南京市内や中国各地の戦場を記録した写真、陸軍報道部が戦意高揚の目的で報道出版関係に提供した写真や、侵略戦争の犠牲となった女性・子どもをふくむ中国人の被害状況を記録した写真のスライドを上映し、南京大虐殺事件に至る日中戦争の経過を開設した資料と、次の証言ビデオに登場する証言者の略歴などを配布資料の説明があった。それを受けて日中友好協会が制作したビデオ、「泥にまみれた靴で」(副題:「未来につながる証言、侵略戦争」(26分))を上映した。ビデオで紹介された証言は、上記のスライドが映し出していた侵略戦争の実態を当事者が生々しく語るもので、その体験を踏まえ

て日中友好、平和を訴える声には説得力があった。以上のビデオ・スライドを受けて、会場内の参加者、戦争を体験した人、戦争を知らない世代との話し合いに移った。参加者の中に19才で繰り上げ招集され中国の武漢、三鎮など中支での作戦に参加した85歳の男性もいたのだが発言を頂けるまでには至らなかった。航空兵として台湾に行き、特攻兵器「震洋」の搭乗訓練を受けていた人、女学校から工場に動員された女性の体験、「特幹」(特別幹部候補)を志望しながら合格通知の遅れで工場動員された兄をもつ人の戦時体験、従軍看護婦として旧満州から中国へと内乱の中国大陸を歩き通した女性の体験談、戦後生まれで戦争を知らないが高校で日本史を教えている人の近現代史を教える立場からの体験など出された。子どもや孫たちに二度とこのような悲惨な戦争体験をさせなくてもよいように、みんなで力を合わせて戦争放棄の九条と平和憲法を守っていきましようというところで締めくくりに閉会挨拶があった。4時に閉会。設営協力者、女声合唱団員、他町村からの参加者を入れて参加者は、合計で65人。集中豪雨と洪水警報が近畿各地に出て由良町内も朝から激しい雨が降り続いてきた悪天候下での集

会だったこともあって、参加者は少なかった。しかし先の戦争の侵略戦争としての根幹の部分に正面から切り込んだ点で、戦争体験を語り継ぐ会の新しい一つの行き方を示せたのではないかと考えている。

中支作戦に参加した85歳の男性が今集会をどう受け止めたかについては、こんごとも接触を続けて話し合い、聞かせてもらおう努力をしていきたい。

「九条の会ゆら」事務局長 池本 護

障害者・患者9条の会

結成4周年総会

6月27日 約40名が参加して標記総会が和歌山市ふれあいセンターで開催されました。

同9条の会は、学習交流集会の開催や参加、戦跡めぐりハイキング、九条署名への取り組み、物品販売、「障害者自立支援法訴訟の基本合意の完全実現をめざす和歌山の会」、「和歌山障害者の生活と権利を守る連絡協議会」、「憲法九条を守る和歌山弁護士会」、「わかやま県民の会」などとの共同行動への協力など多様な活動を行っている団体

普天間基地の無条件撤去を！ 憲法9条破壊を許すな

JR和歌山駅前で9日宣伝



7月19日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは一時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。炎天下で2人がマイク宣伝にたち、それぞれ「米軍基地はイラクやアフガニスタンへ殴り込む戦争の基地になっていく。憲法9条を持つ日本に米軍基地は要らない。普天間基地を無条件撤去せよ。」、「9条を守るとともに9条破壊を許さない世論を強めよう。」と訴えました。

日宣伝署名行動を行いました。炎天下で2人がマイク宣伝にたち、それぞれ「米軍基地はイラクやアフガニスタンへ殴り込む戦争の基地になっていく。憲法9条を持つ日本に米軍基地は要らない。普天間基地を無条件撤去せよ。」、「9条を守るとともに9条破壊を許さない世論を強めよう。」と訴えました。

況ではありません。これから憲法・9条を守る運動がさらに発展し、平和的生存権に基づく日本の平和が実現し、世界の平和にも貢献できる状況をつくりだすために、同会を含めた9条の会がさらに充実・拡大されることを求められています。(藤井)

